

# WILL受注出荷 IP進捗 Ver4.2リリース説明書

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

iP進捗 Ver4.2は、Ver4.1の下記不具合対応版となります。その他の機能はVer4.1と同じです。  
不具合:アプリがVer4.1でサーバーアプリがVer4.0の時、進捗モードで工程選択しても自動で元の画面に戻らない  
手動で戻ることは可能  
本書はVer4.1とVer4.2の両方の内容を記載しています。

- 第1版 -

2023年12月5日

株式会社アマダ  
株式会社ケーブルソフトウェア

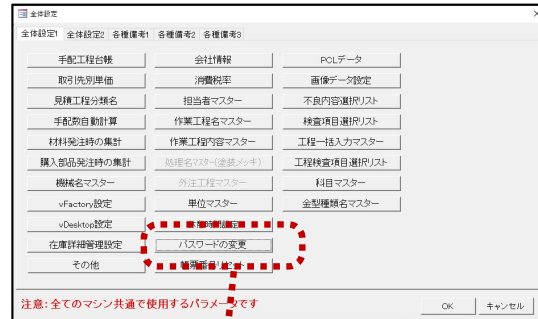
# Ver4.2機能改善項目

## <追加・改良機能>



① 設定内容のアップロード・ダウンロードが可能となりました。複数台のiP進捗設定内容を容易に統一できます。

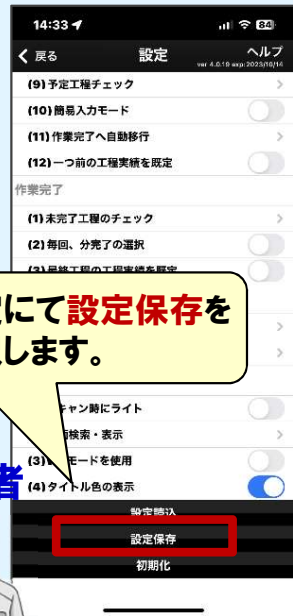
### 受注出荷-全体設定



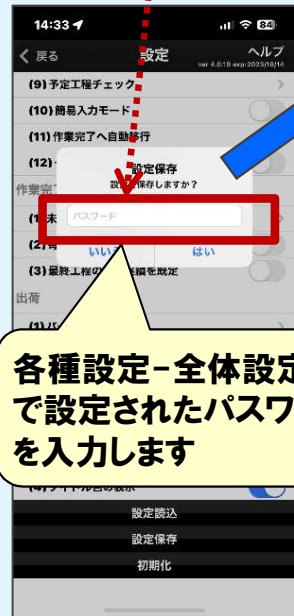
設定情報

設定情報

### 設定保存



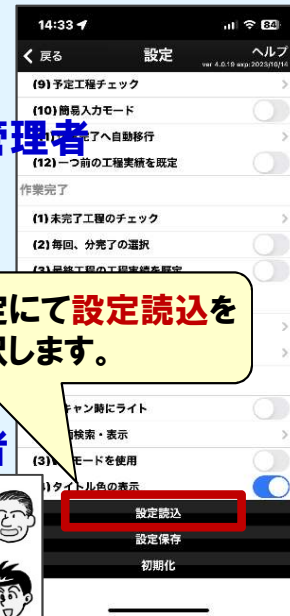
管理者



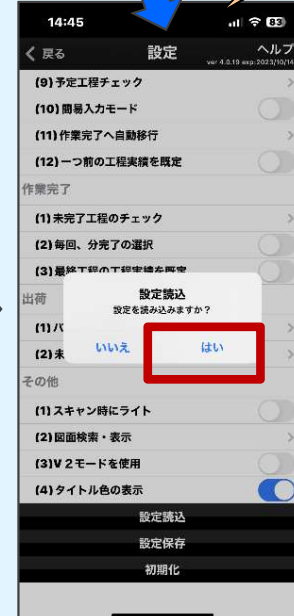
設定情報が  
マスターとして  
登録されます。

### 設定読込

管理者



iP進捗利用者



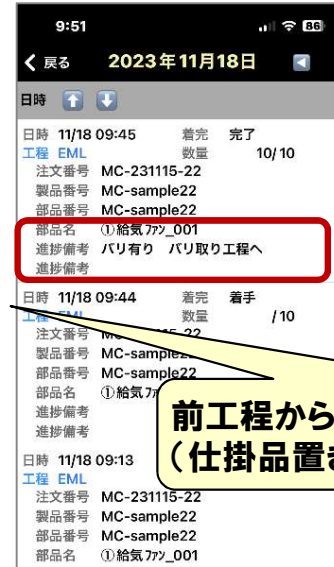
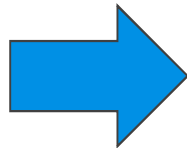
# Ver4.2機能改善項目

## <追加・改良機能>



- ② 初期化ボタンが追加になりました。  
iP進捗の動作が不安定になった時、再インストールせずにイントール状態に戻すことが可能です。

- ③ 部品実績、作業実績に進捗備考1,2を表示するように改善しました。



前工程からの引継ぎ情報などに活用できます。  
(仕掛品置き場、予定外の工程、等)

- ④ 工程選択画面で、工程内容も表示するよう改善しました。
- ⑤ 作業工程名マスターで「実績入力しない」がONになっている工程名を工程名リストでグレーで表示するよう改善しました。

# Ver4.2機能改善項目

## <追加・改良機能>

### ⑥ 進捗モードでバーコード読取後、未完了の工程(工程順が若い)が自動選択されます。 (設定→進捗関連→(13)工程自動選択=ONの時)

**未完了の工程  
(工程順の若い物)  
が自動的に選択  
されます**

**工程が自動選択されます。**

手配日	2019/03/01
納期	2019/03/31
数量	10

### ⑦ バーコード読込 まとめ入力文字を見やすくしました。

- ⑧ バーコード読込後に工程選択をした際、元の状態(着手・中断等)を再現するようにしました。
  
- ⑨ 間接工程の仕掛りを選択した際、元の状態(着手・中断等)を再現するようにしました。

- ① 間接モード→仕掛モード→“戻る”の操作で間接モードに戻った時、「カメラ」ボタンが表示される。
- ② 進捗キット・“パラメータ:着完IDチェックなし”の進捗実績がIP進捗では、正常に表示されません。(工程選択画面で完了示す緑色になりません。)
- ③ まとめ入力にて工程選択画面の工程が正常に標準されない場合がある。
- ④ 間接入力モードの実績結果を参照すると(作業実績)アプリが落ちる場合がある。
- ⑤ 設定→出荷・バーコード対象項目を“備考1”して出荷操作すると、バッファテーブルに値が書き込まれない。
- ⑥ 設定→出荷・未作業完了のチェック:有効時、まとめ出荷にて、「作業完了済手配バーコード」、「作業中手配バーコード」を混在で読込んだ時に、未完了チェックが動作せず全て出荷してしまう。  
<対応>  
出荷モード、まとめ出荷した手配の中に1つでも作業中手配がある場合は、未作業完了チェックが有効になります。
- ⑦ 設定→作業完了・未完了工程のチェック:有効時、まとめ完了にて、「未完了工程有の手配」と「未完了工程無の手配」を混在で読込んだ時に、未完了工程チェックが動作せず全て完了してしまう。  
<対応>  
作業完了モード、まとめ入力した手配の中に1つでも未完了工程有の手配がある場合は、未完了チェックが有効になります。
- ⑧ 特定の操作で画面が乱れる(間接、完了、出荷→仕掛かり→進捗などの遷移)
- ⑨ 同一工程が複数存在する作業手配をまとめ入力をした時、一部の工程が表示されない。
- ⑩ 設定→進捗関連・作業完了への自動移行:最終工程の進捗完了時、最終工程とその前の工程が同一工程の場合、その前の工程着手→完了で完了モードに自動遷移してしまう。
- ⑪ アプリがVer4.1でサーバーアプリがVer4.0の時、進捗モードで工程選択しても自動で元の画面に戻らない  
手動で戻ることは可能[Ver4.2対応項目]

1) Ver4.2動作環境は、**サーバ側ファイルの更新が必要です。**

**ServerVerは4.2.0となります。(Version.txt参照)**

**※複数のファイルが更新となっています。**

**※WILLサーバのC:\ASIS100\C\_able\WillOrderStatus(標準環境)配下のファイル差し替えをお願いします。**

**※web.configファイルの差替えはありません。(Ver3.12のWeb.configファイルはそのまま使用可能)**

2) Ver4.2動作環境で、Ver4.1 Ver4.0は基本動作しますが、一部機能は改善されません。



### <概要>

iP進捗のサーバアップデートは、iPServUpdate.exeで対応しております。  
旧バージョンのWillupdate.exeでも動作します。

1)サーバアプリ更新ツールが新しくなりました。

実行モジュールの使い方は同じです。

旧:Willupdate.exe

新:iPServUpdate.exe

2) iPServUpdate.exeはweb.configファイルも自動更新します。

※マスターファイルのweb.configに記載されている[ユーザアカウントとパスワードを自動的に書換えます。](#)

### <動作環境>

1) iPServUpdate.exeの動作環境はWillupdate.exeと同じです。

お客様DBサーバのWillupdate.exeと同じフォルダーにコピーしてください。

### <その他>

1) iPServUpdate.exeによる更新は、iP進捗Ver4.1のアップルストアリリース後、利用可能となります。

2) iPServUpdate.exe(マスターファイル)は、

¥¥nec-01¥C-able¥ (2) WILL出荷関連¥iPシリーズサーバアプリ¥更新ツール¥iServUpdate.zip  
に保管されています。



“WillOrderStatus”の配下(通常はC:\ASIS100\C\_able\WillOrderStatus)にある、Web.configをメモ帳で開き、WILLの実行ユーザーアカウントとパスワードを編集します。

Web.config

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<configuration>
<!-- -->
<!-- Web.config iIPv3/WillOrderStatus Only -->
<!-- -->
    <system.webServer>
        <directoryBrowse enabled="false" />
    </system.webServer>

    <connectionStrings>
        <add name="WillConnectionString"
            providerName="System.Data.SqlClient"
            connectionString="Persist Security Info=False;Integrated Security=true;server=(local);Initial Catalog=Cable;Pooling=false" />
    </connectionStrings>
    <system.web>

        <!-- Please check Windows User and password -->
        <identity impersonate="true" password="will" userName="will" />

        <customErrors mode="Off" />
        <compilation debug="true" />
    </system.web>
    <system.codedom>
        <compilers>
            <compiler
                language="c#:cs:csharp"
                extension=".cs"
                warningLevel="4"
                type="Microsoft.CSharp.CSharpCodeProvider, System, Version=2.0.0.0, Culture=neutral,
                PublicKeyToken=b77a5c561934e089">
                <providerOption name="CompilerVersion" value="v2.0" />
                <providerOption name="WarnAsError" value="false" />
            </compiler>
        </compilers>
    </system.codedom>
</configuration>

```

Ver3.0.14で追加

db:Pooling=false

password="will" userName="will"

WILLの実行ユーザーアカウントとパスワードを指定